

P=ポイント

国 内		県 内	
3日	<b>2021年の出生数、過去最少</b> 2021年人口動態統計月報年数(概数)の概況によると、出生数は前年比2万9,231人減の81万1,604人と過去最少。第1子出生時の母の平均年齢は30.9歳と6年ぶりに上昇。	1日	<b>県、宮崎本格焼酎応援サイト「だれやみ」英語版公開</b> 県は、本格焼酎のさらなる輸出拡大を図ることを目的に、英語圏パイヤーに向けて、県内蔵元等を紹介する宮崎本格焼酎応援サイト「だれやみ」の英語版を公開。
7日	<b>4月家計調査、1世帯当たり消費支出2カ月連続減少</b> 4月の家計調査報告では、1世帯当たりの消費支出(2人以上の世帯)は30万4,510円。物価変動の影響を除いた実質は前年同月比1.7%減と、2カ月連続のマイナス。自動車等関連費の減少が大きく影響。	1日	<b>高千穂町、地域商社「高千穂まちづくり公社」設立</b> 高千穂町は、町の魅力発信や観光と物産を生かした地域活性化を目指すために、地域商社「高千穂まちづくり公社」を設立。資本金全額を町が出資し、同町長が社長を務める。
7日	<b>4月景気動向一致指数、前月と同じ96.8</b> 4月の景気動向一致指数(CI、2015=100)は、小売業の販売が伸びた一方で、輸出や生産などが振るわず、前月と同じ96.8。一致指数をもとに機械的に作成する景気の基調判断は「改善を示している」を据え置き。	2日	<b>プロ野球巨人軍ファーム、来春2月に都城市でキャンプ</b> 読売巨人軍(東京都)は、2023年2月に行われるファーム春季キャンプの一部を都城市高城町で実施することを発表。同市でのキャンプ実施は1974年以来の49年ぶりとなる。
8日	<b>4月国際収支状況、経常収支の黒字幅縮小</b> 4月の国際収支状況(速報)では、海外とのモノやサービスなどの取引状況を表す経常収支は、原油などエネルギー価格の高騰などから、前年同月比55.6%減の5,011億円と黒字幅が縮小。	7日	<b>2021年度スポーツキャンプ・合宿受入実績、コロナ禍前の6割</b> 県は、2021年度の県外からのスポーツキャンプ・合宿の受入実績を発表。団体数は前年度比5.1%増の634団体、参加人数は同24.2%増の1万6,134人と、増加に転じたものの、コロナ禍前に比べると約6割。
8日	<b>5月景気ウォッチャー調査、景況感3カ月連続改善</b> 5月の景気ウォッチャー調査によると、景気の現状判断指数(DI、季節調整値)は、前月比3.6P上昇の54.0と3カ月連続改善。大型連休中に行楽客が戻るなどで、飲食・サービス関連指数が上昇。	8日	<b>J A宮崎経済連とコープみやざき、包括連携協定締結</b> J A宮崎経済連グループと生活協同組合コープみやざきは、協同組合間連携に係る包括連携協定を締結。食の安全安心と地域の農業や経済活性化に貢献するパートナーとして取り組む。
8日	<b>5月全国企業倒産件数、2カ月連続で前年同月超</b> 5月の全国企業倒産件数(負債額1,000万円以上)は、前年同月比11.0%増の524件と、2カ月連続で前年同月を上回った。新型コロナウイルス関連倒産は同54.0%増の191件。	14日	<b>本県スギ丸太生産量、31年連続日本一</b> 2021年本県のスギ素材(丸太)生産量は、前年比111.0%増の193万1,000㎥と31年連続の日本一。海外需要の高まりと木材価格の上昇から、1960年の統計開始以降の最多。
13日	<b>4～6月期法人企業景気予測調査、2期連続悪化</b> 4～6月期の法人企業景気予測調査によると、大企業全産業の景況判断指数(BSI)は、原油価格や原材料価格高騰による調達コスト上昇懸念から、マイナス0.9と2期連続の悪化。	15日	<b>2020年国勢調査、本県労働力率25年ぶりに上昇</b> 2020年国勢調査(10月1日現在)の本県の就業状態等基本集計結果は、労働力人口が前回調査(2015年)比0.9%減の55万5,731人。労働力率は60.9%と、1995年以来25年ぶりに上昇。
16日	<b>5月貿易統計、輸入額が過去最高を更新</b> 5月の貿易統計(速報)では、輸出額が前年同月比15.8%増の7兆2,521億円、輸入額が同48.9%増の9兆6,367億円。輸出から輸入を差し引いた貿易収支額は▲2兆3,847億円と、10カ月連続の赤字。	17日	<b>延岡市、デジタル田園都市国家構想推進交付金採択</b> 延岡市は、国に申請していた「空飛ぶクルマも見据えた新たな救急搬送体制づくり」が、「デジタル田園都市国家構想推進交付金(デジタル実装タイプTYPE 2)」対象事業に採択されたと発表。
20日	<b>6月月例経済報告、景気の基調判断を3カ月連続据え置き</b> 6月の月例経済報告によると、景気の基調判断は「持ち直しの動きがみられる」と3カ月連続の据え置き。中国における経済活動抑制などで生産の判断は下方修正されたが、需要回復がみられる住宅建設は上方修正された。	19日	<b>県、独自の「医療警報」終了</b> 県は、6月6日から移行した独自の「医療警報」を終了。20日以降は全ての飲食店での会食時の具体的人数や時間の制限をなくすが、高齢者施設などには引き続き最小限の人数での面会を求める。
29日	<b>6月消費動向調査、消費者態度指数は3カ月ぶり悪化</b> 6月の消費動向調査では、消費者心理を表す消費者態度指数(2人以上の世帯、季節調整値)は、前月比2P低下の32.1と3カ月ぶりの悪化。消費マインドの基調判断は「下げ止まりの動きがみられる」と前月から据え置いた。	28日	<b>高千穂峡貸しボート、1艇当たりの料金へ変更</b> (一社)高千穂町観光協会は、高千穂峡の貸しボート料金体系を、現行の人数や年齢に応じた料金から1艇当たりの料金へ変更することを決定。変更後の料金は2022年10月1日から適用。